

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中山道を活かした地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	東信州中山道連絡協議会 (佐久市観光協会内 TEL0267-62-3285)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,862,460 円 (うち支援金 : 1,489,000 円)

## 事業内容

江戸五街道の一つである「中山道」は、江戸の日本橋から京都の三条大橋を結ぶ街道である。碓氷峠は信州への入口となっているが、険しい山々が続き、冬は寒さも厳しく、通行人にとっても決して平坦な道ではなかったが、碓氷峠を越えた先は、浅間山が美しい稜線を描き、八ヶ岳から流れる清涼な水が千曲川を走っている。

自然豊かな東信州では、中山道の宿場が十二あり、それぞれ異なった様相を呈しており、これらを広く知っていただくため、「歩いて、触れて。東信州中山道」をコンセプトにした体験型の街道イベントや、県内外へ中山道の魅力をアピールし、地域住民の観光資源意識の向上や地域振興に加え、新たな観光客の誘客を図った。

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

従来の「観る」観光から、「体験型」観光に移行している中で、本陣や寺院、江戸時代に人々が通った風景が残るポイントなどをお宝と称して、自らの脚で見つけて歩くイベントを開催することにより、各宿場の魅力ある箇所を観光客に知っていただくことができた。

また、WEBサイトで軽井沢宿から和田宿までの一体的な紹介やイベントの告知、県外に向けての新聞広告の掲載も行うことで、広い範囲で東信州中山道のことを知っていただき、イベント参加者の増加にもつながった。

## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

中山道の魅力に関して、地域住民の意識を高めていくため、引き続き、行政と民間の各種団体が連携して、観光地としての環境整備を行っていく。

また、限られた予算の中ではあるが、WEBサイトや中山道を紹介するパンフレットを作成するなど、情報発信に努めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【イベントの様子】

## 【目標・ねらい】

- ①行政、民間の各種団体の連携による観光利用客の誘客
- ②地域住民の観光資源意識の向上
- ③県内外に向けての情報発信

## ※自己評価【A】

## 【理由】

宿場の見どころを探すイベントに県内外から多くの方に参加していただき、イベントを通じて、中山道の魅力を伝えることができた。